

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		学校施設維持事業		担当課	教育施設課	担当係	施設管理係	管理番号	6116	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	教育基本法、学校教育法				
	小項目	1	「生きる力」を育む学校教育の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		児童・生徒及び園児が安全に学校（幼稚園）生活を送ることができる環境を整備するため、学校施設の適正な維持管理を行うものである。								
目的 ※何のために		児童・生徒及び園児が安全に学校生活を送ることができるようにするため。								
対象 ※誰・何を対象に		学校施設（小学校１９校、中学校１０校、幼稚園８園）								
手段 ※どのように		施設管理上の各種点検の実施及び修繕を行う。								
成果 ※何を求めるか		施設の適切な維持管理を行う。								
執行体制		<input type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔教育施設課〕	187,255,801
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔深谷小学校〕	714,720
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔深谷西小学校〕	700,370
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔桜ヶ丘小学校〕	777,073
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔藤沢小学校〕	685,515
本事業の 主な業務		・学校施設の維持管理					・教育財産の目的外使用許可業務			
		・学校施設台帳の整備保管					・法定点検に基づく指摘事項の修繕			
		・学校施設の調査					・			
		・学校敷地内の樹木剪定					・			
		・学校施設の点検					・			
		・学校施設へのエアコン設置					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画		・花園小トイレ改修工事・幡羅小外部改修工事・エアコン設置工事	・上柴西小東校舎トイレ改修・桜ヶ丘小外部改修工事・中学校防火シャッター改修	・上柴西小西校舎トイレ改修・岡部中北校舎トイレ改修・小学校防火シャッター改修	・幼稚園3歳児受入対策工事・川本中柔道場ほか整備工事・桜ヶ丘小校庭整備設計	・建物、建築設備定期点検・遊具、体育器具点検・PCB収集運搬、処分・藤沢小トイレ改修工事等	・桜ヶ丘小トイレ改修設計・花園小外部改修工事・幡羅中外部改修工事	
事業費	予算（現額）	424,141,000	869,482,800	901,461,000	696,750,050	305,290,000	321,097,000	
	決算額	299,323,522	503,964,252	469,188,469	360,490,095	255,205,632	0	
	財源内訳	国支出金	20,628,000	47,903,000	41,060,000	60,125,000	34,100,000	21,027,000
		県支出金	0	0	1,280,000	954,000	840,000	0
		地方債	54,300,000	139,300,000	259,900,000	145,800,000	77,400,000	94,000,000
		他特定財源	4,125,000	1,325,000	1,545,677	1,277,655	1,270,916	1,276,000
		一般財源	220,270,522	315,436,252	165,402,792	152,333,440	141,594,716	204,794,000
人件費	従事職員数（人）	4.86	5.50	5.35	4.05	4.99	3.00	
	人件費相当試算※	37,805,940	42,801,000	43,361,750	32,950,800	38,731,956	24,394,044	
総事業費試算		337,129,462	546,765,252	512,550,219	393,440,895	293,937,588	345,491,044	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
	実績値										
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
実績値の算出式											
活動指標 1	施設修繕及び工事件数	目標値	件								
		実績値		540	510	520	485	425	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		修繕や整備の必要性や緊急性によるため、目標値を設定できない。 / 当該年度実績								
	実績値の算出式										
活動指標 2	年間学校施設維持管理費用	目標値	万円								
		実績値		33712	54676	51255	39344	29393	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値をコントロールできないため。 / 当該年度実績								
	実績値の算出式										
成果指標 1	施設管理上の事故件数施設の 瑕疵による生徒等の傷病	目標値	件	0	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		瑕疵による事故を発生させないことが適正なため、目標値は0を設定している。 / 業務安定システム事務処理対応表								
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	修繕及び工事数は、職員で対応できる軽微な内容については、積極的に実施し、件数が減少した。また、維持管理費用は、大規模な改修工事等を実施しなかったため減少した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	施設管理上の事故の発生もなく、適切な維持管理を行うことができた。
			評価者 施設管理係長 田沼 亮介

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	過去の工事図面の管理方法について、学校と教育施設課それぞれで保管しており、図面リストを作成し管理しているが、修繕時に業者へ貸し出す際に、学校では、工事図面の判断ができず、教育施設課職員が学校へ行き、必要な工事図面を確認しているため、今後、図面のデータ化等の管理方法の効率化が必要である。
			評価者 施設管理係長 田沼 亮介

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	学校施設長寿命化計画による実施計画について、財政状況により計画の遅れが見込まれるなか、各学校から相談を受けた不具合箇所や各種点検・維持管理業務委託からの指摘事項等について、速やかに状況を確認するとともに、児童生徒等の安全確保の観点から優先順位をつけて、学校とも連携を密にしながら適切な修繕及び工事を行う。
達成状況及び その効果	令和3年度に予算が確保できた学校施設長寿命化計画に基づく工事は、実施でき、児童生徒が安全に学校生活を送るための環境を整備することができた。また、不具合箇所について危険性が高いものは、状況確認し必要に応じて、修繕等を実施することにより、施設管理上の事故を未然に防ぐことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	学校施設維持事業	担当課	教育施設課	担当係	施設管理係	管理番号	6116
<div><div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>施設の老朽化が進み修繕・工事費等の増加が見込まれる。今後についても、適切な維持管理を実施していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	課長 中島 武彦				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	学校施設長寿命化計画による実施計画について、財政状況により計画が遅れている。各学校から相談を受けた不具合箇所や各点検・維持管理業務委託からの指摘事項等について、速やかに状況を確認するとともに、児童生徒等の安全確保の観点から優先順位をつけて、学校とも連携を密にしながら適切な修繕及び工事を行う。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	学校施設長寿命化計画による実施計画について、計画に遅れが生じているため、今後、実施計画を見直す必要がある。

8. 評価指標グラフ

